

3年 進路 だより

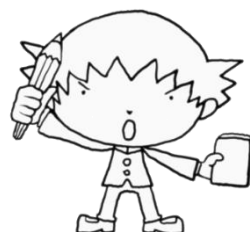
No.1 市岡中学校 2020. 5. 20

新3年生・新たな気持ちで

新3年生のみなさん、進級おめでとうございます。コロナウィルスの関係で、大きく遅れたスタートとなりましたが、新しいクラスがようやく始まり、新たな気持ちでがんばろうと張り切っていると思います。そして中学校3年生は義務教育の最終学年です。1年後には、中学校を卒業して新たな生活を始めていることになりますので、今まで以上に将来を意識していきましょう。

進路決定の取り組みは始まっている

この1年間をかけて取り組むことが進路決定です。高校進学にしても就職にしても、希望の進路に進むためには「試験」という関門を通らなければなりません。そしてみなさんにぜひ自覚してもらいたいことがあります。進路決定の取り組みは始まっている、ということです。ここでは高校進学について述べます。



その1 希望の進路を獲得するために

高校進学については、義務教育の小中学校のように自動的に高校生になれるわけではありません。高校の定員を越えて入学を希望する人がいれば、入学試験の成績上位の人の中から定員以内の人数が合格となります。たとえば、定員200人の学校で250人が受験すれば、50人は不合格となり入学できないのです。

生徒全員が希望する高校に入学するためには、一人ひとりが入学試験に合格できる学力を身に付けなければなりません。

その2 どの高校に進学するか

大阪府下には公立と私立の高校を合わせて200を超える高校があります。実際、本校をこの3月に卒業した73期生の皆さんの進学先は80校近くになります。それだけに、卒業後の進路（大学への進学や就職など）もよく考えて自分に一番合った高校を選ぶ必要があります。高校では体験入学・説明会等が行われるので気になる学校は、ホームページやポスター、高校から届く資料で日程を確認するようにしましょう。高校によって申し込み方法が違うところも注意が必要です。

その3 高校受験について

高校は大きく分けて公立(大阪府立・大阪市立)と私立高校があり、入試の主な日程は以下の通りです。

★私立高校 2月10、11日

★公立高校・特別選抜入試 2月18(木)、19日(金) ※音楽科などは別日程

※工業(主にデザイン)関係、美術科、体育関係、芸能文化科、演劇科、総合造形科、

総合学科(エンパワメントスクール)、多部制単位制Ⅰ部・Ⅱ部、昼夜間単位制など

★公立高校・一般選抜入試 3月10日(水)

※通信制などは別日程

※普通科、商業科、農業科、工業に関する学科、情報科学科、グローバル科、国語科、理数科、総合学科、サイエンス創造科、文理学科、福祉ボランティア科、食物文化科、総合学科(クリエイティブスクール)など

その4 専願と併願の違い

私立高校の入試には専願と併願があります。専願は合格したら必ずその私立高校に入学します。ふつう入試の合格点の基準が少し低くなります。併願は合格しても入学する義務はありません。あとで受験する公立高校を第一志望として、そこが不合格だった時の「すべり止め」として受けることが多いです。公立高校の入試は合格したら必ずその学校に入学することになります。

公立高校の入試の仕組み

その1 特別選抜と一般選抜の入試

特別選抜入試(2月)では、受験科目は国語、社会、数学、理科、英語の5教科です。それに調査書と自己申告書を加え、実技検査や面接を実施する学科があります。

一般選抜入試(3月)では、受験科目が国語、社会、数学、理科、英語の5教科です。それに調査書と自己申告書を加えて入試の成績を決めます。

その2 公立高入試の調査書の評価

入試では調査書(いわゆる内申書)の9教科(国、社、数、理、英、音、美、技・家、保体)の5段階の評価を点数化したものと学力検査(入試)の点数を合計します。

今年の3年生のみなさんの場合は、1年生と2年生の評定と3年生の評定を1:1:3の割合で合計して調査書の評定を5段階で出します。

ここでは一般入試の標準的な例をあげます。調査書の9教科の評定の合計×10(450点満点)と学力検査(入試)の点数5教科(国、社、数、理、英)各90点で合計450点となり、その合計900点満点で得点の高い人から合格となります。(合計点の中の評定の割合と学力検査の割合は5:5や4:6など、学校によって違います)

ボーダーライン(定員の90%から110%)に入った人は調査書と自己申告書の内容が合否判定に加味されます。

さらに、10月には「大阪市統一テスト」があり、調査書の評定に影響してきます。詳しくは今後の資料も使って確認しましょう。

今後の動きを意識しておく

今年は例年と違い、特殊な形で新学期を迎えました。世の中では9月スタートなどもささやかれているのを皆さんも聞いたことがあるかと思います。進路の流れも今までと変わってくるかも知れませんが、今後の動きを聞き逃す、見逃すことがないように注意をしておいてください。